



気温が低くなり、雪も降りはじめ、冬の訪れを実感します。現在、北海道はインフルエンザの患者が増加傾向にあります。換気や手洗い・うがい等健康管理には十分に留意して、クリスマスを迎えましょう。



## 12月の予定



		行事	弁当
1	金		要
2	土	父の会聖書サークル(16:00~ Sr. 田口)	
3	日		
4	月	漢字コンテスト② (1限) クリスマス・プラクティス(~14日)	要
5	火	全校朝礼 母の会聖書サークル(10:30~ Sr. 新庄)	要
6	水	クリスマス歌練習(6限)	要
7	木	AFS インターナショナル Day ピアサポート⑧	要
8	金		要
9	土	SP18(最終)	
10	日		
11	月		要
12	火		要
13	水	梅干し弁当⑦ 職員会議(15:40~)	要
14	木	クリスマス歌練習(5, 6, 7限)	要
15	金	クリスマスウィッシング(午前)	不要
16	土		
17	日		
18	月		要
19	火	母の会聖書サークル(10:30~ Sr. 田口)	要
20	水	終業日 帰省日	不要
21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水	カトリック札幌北一条教会ボランティア	
28	木		
29	金	学校閉鎖期間 (~1月3日)	
30	土		
31	日		

## 梅干し弁当募金

11月15日(水)に行われた梅干し弁当募金は、日本ユニセフ協会を通してイスラエルとハマスの軍事衝突に苦しめられているガザ地区の人々への支援に役立てていただくために行いました。

みなさまのご協力により、**総額 20,637円**を送金することができました。

## Congratulations!!

- ◎ 第69回青少年読書感想文全道コンクール  
 優秀賞:高3G 関根凜子、高3S 谷口まる  
 優良賞:高3S 西恵里奈
- ◎ 第73回全国小・中学校作文コンクール  
 佳作:中3 菅田季那

## 人間関係ミーティング

### 「アナタ」を持っている世界中のアナタへ

10月25日(水)に、札幌在住の絵本作家ヤギオ イヌ、さんからご講話をいただきました。難病を抱えてマイノリティーの立場に置かれながら、絵本を通して多様性社会のありかたについて発信をされてきたご自身の体験談をお話し下さり、自分らしく生きていくことの大切さを学ばせていただきました。



☆ 行事予定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

## 中学3年オンライン国連研修(10/16~10/18)

中学3年生の希望者が、4ヶ月にわたる事前学習を経てオンライン国連研修に参加しました。世界各地の聖心会のシスターや国連職員、国連 NGO の方々から教育や難民、平和構築などグローバルな社会問題の実態や解決に向けた取り組みについてお話しいただきました。

世界各地からリアルタイムでお話を聞くことができ、参加生徒は毎日ふりかえりをしながら自分自身と社会を変容させるための学びを深め、祈りを共にし、アクションプランを考えました。

修了式では SDGs のバッジと先輩が作ったパンフレットを受け取り、実り多い研修を終えました。後日、来校した聖心インターナショナルスクール校長 Sr. Wachter の前で代表生徒が報告を行いました。



## 宗教行事

10月下旬から11月中旬にかけて、大切な宗教行事が続きました。



ロザリオの祈り(10/24~27)



追悼ミサ(11/8)



聖フィリピン・デ・ジョーンの祝日(11/17)



## 今月のこころのことは

「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。」

(ルカ福音書 12章 49節)

今から244年前、1779年12月12日の夜、中世の街並みが続くジョワニイの街に火災が起きました。火の手が迫る中で、ショックを受けた母から未熟児として生まれたのが、後の聖マグダレナ・ソフィア、聖心会の創立者でした。「火が私をこの世にもたらしました。」と言った彼女は、全ての人への愛に燃える心を示すイエスの聖心(みこころ)を伝えるために、一生を捧げました。

生徒たちは今年のクリスマス・プラクティスとウィッシングのテーマを、「Sacred Heart~イエスの燃えるみこころに答えよう」として次のように説明しています。

「私たちの学校名として掲げられている Sacred Heart は、イエスのみこころ(聖心)のことです。イエスの一人ひとりへの愛は『燃える心』として、聖心(みこころ)のご像に表現されています。その愛を受けて、心に火が灯され、徐々に大きく燃えていくように、私たちがイエスの燃えるみこころに答えていくことができますように。ウクライナやガザでの戦闘をはじめ、世界に暗闇が広がる今、毎日心の灯をともして祈りながら、行動しながら、クリスマスの準備を進めましょう。」

この生徒たちの言葉に、聖マグダレナ・ソフィアの願いが実っています。そして、全ての人への愛の火が燃えるイエスのみこころの想いが、闇に輝く灯りとなって、クリスマスの準備をする生徒たちを導くようにと祈ります。

(チャプレン田口保子)



聖マグダレナ・ソフィアが少女の頃から一家で祈りを捧げていたイエスの聖心の絵